高小コミスクだより

No.6　令和2年11月
かほく市立高松小学校
校長　笹山明夫
学校コーディネーター
澤野直美

共に生きる

4年生は10月、4回にわたって、ゲストティーチャーに福祉について教えていただきました。生活の中でどんなことが不便なのか、それをどう解消しているか等、お話を聞かせていただきました。また街で見かけた時に、声をかけることがとても大切だと学びました。そして、障害者スポーツについても学び、車イスバスケとボッチャを体験しました。子ども達にとって貴重な体験となりました。

兼氏浩子さん 「車イスの上から見えたもの」
子ども達のたくさんの質問に答えてくださいました

聴覚障がいの濱本真由美さんと一緒に、口話(口パク)ゲーム。声を出さずに、口の動きをあてます。「たばこ、たまご、なまこ？」

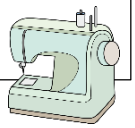
視覚障がいの西寿一さんと盲導犬ウーノ君の階段の上り下りの様子を見学しました。

聴覚障がいの方への伝達手段である要約筆記を体験。 読み上げられた文章を聞き取り、3人一組(話をメモする人、透明のシートに書く人、シートを引く人)で、字幕のようにプロジェクターに映します。

車イスバスケ体験。Jamaney 石川の岩崎大輔さんと半田幸司さんと一緒に車イスバスケを楽しみました。

ミシン学習

10月7日(水)6年2組、12日(月)6年1組が、家庭科でナップザックを作りました。子ども達は、ミシン学習ボランティアの山口外美さん、東谷真紀子さんに積極的に質問して上手に縫うことができました。



たくさんとれたよ！

10月7日(水)、1年生がさつまいも掘りをしました。春から駒井修一さん･駒井和子さんに指導していただき、大きいサイズのさつまいもがたくさん収穫できました。そして芋のつるも食べれることを教えてもらったり、芋のつるで縄跳びをしたり、楽しい時間になりました。

太鼓実演

10月19日(月)、2年生が太鼓教室で太鼓の叩き方を習いました。ゲストティーチャーは太鼓教室をされている金谷憲男さんと北敬司郎さんです。始めに実演していただきました。。次に、箱を太鼓代わりにして、ゲストと合わせて練習しました。そして最後は4人ずつ前に出て、それぞれ長胴太鼓と締太鼓を叩きました。子ども達は練習の成果を発揮して、力強く堂々と太鼓を叩く姿を見せてくれました。